

# ~ひたち さくら<sup>いろ</sup>彩プラン~

日立市さくらのまちづくり基本計画

リーフレット



## 策定の趣旨

本市のシンボルである桜は、市民と企業が力を合わせて煙害を克服した力強い歴史の中で育まれてきました。

まちの発展とともに桜を大切にしてきた先人たちの想いを受け継ぎ、市民・企業・行政の協働により桜を守り育てる意識の醸成を図るとともに、5年先、10年先につながるさくらのまちづくりを推進するための指針となる基本計画を策定するものです。

## 計画期間

本計画は、令和4（2022）年度から令和13（2031）年度までの10年間の基本理念、基本方針を定めるとともに、第1期計画として令和4（2022）年度から令和8（2026）年度の5年間に取り組む施策を定めます。

計画内容は、社会情勢の変化、施策の進捗状況及び関連計画の改定状況に応じて、5年後に見直しを行います。

## 基本理念

本市の桜の現状や課題等を踏まえ10年後の「さくらのまちづくり」の目指すべき姿として、本計画の基本理念を次のように定めます。

本市のシンボルである桜を次世代に引き継ぐとともに、桜を活かしたまちづくりを推進することにより、まちの活性化につなげる



本市を代表する平和通りの桜

# 施策の体系

基本理念及び基本方針に基づき、今後5年間で取り組む施策の方向性を決めました。さくらのまちづくりを推進するため、これらの方向性を踏まえて、具体的な施策を展開していきます。

## 基本方針

1 「さくらのまち日立」の原風景を次の世代に引き継ぐまちづくり

2 誇れるふるさとのシンボルとしての意識の醸成

3 桜を活かした魅力的な交流拠点の創出

4 さくらのまちづくりによる地域の活性化

## 施策の方向性

桜の所在と現状の把握

守り育てる体制の構築

次世代へ引き継ぐ取組

桜を誇る意識の醸成

学びふれあう機会の創出

価値向上への取組

既存の名所の魅力向上

新たな名所の創出

桜の特性を活かした演出

桜を活用した観光振興

情報発信の強化

支援体制の確立



地域コミュニティによる桜を守り育てる体制づくり（鞍掛山）



未来を担う子どもたちが学ぶ「さくら教室」の開催

## 基本施策

★は優先して取り組む施策

★1 市民や企業との協働による桜の樹勢点検

2 地域コミュニティによる桜を守り育てる体制づくり

3 桜の知識や技能を有する「さくらもりひたち桜守」の認定

4 名木の保全と樹勢回復

★1 地域を代表する「わがまちの桜」選出

2 未来を担う子どもたちが学ぶ「さくら教室」の開催

3 桜とふれあう植樹祭や観察会の開催

4 企業や教育・研究機関と連携した桜材の活用研究

★1 桜の重要管理拠点の再整備

2 「ひたちらしさ」を演出する市固有の桜名所づくり

3 魅力ある新たな桜の名所創出

4 桜の名所をつなぐ回遊性の創出

★1 桜と観光資源を結びつけた観光振興

2 企業等との連携による桜の特産品の開発・販売促進

3 SNSを活用した桜の情報発信強化

4 市内外の支援者による「桜のサポーター制度」創出



桜の重要管理拠点の再整備  
(平和通り)



SNSを活用した桜の情報発信強化  
(日立紅寒桜)

## 重要管理拠点

本市の桜の拠点のうち、歴史・景観・利用といった観点から特に重要と考えられる拠点を選定し、4か所の重要管理拠点を設定しています。

本市を代表する桜の名所にふさわしい拠点を維持管理していくため、樹勢回復や桜の植樹などの計画及び実施を検討します。

### 1 平和通り

日立駅から国道6号までの延長約1kmの車道の両側に、約120本のソメイヨシノが植樹されており、美しい桜並木は、かみね公園とともに日本の「さくら名所100選」に選ばれています。

#### 整備方針

- 1 危険木に対して迅速に対応し、更新する
- 2 並木景観を維持しながら更新を行う
- 3 計画期間中は中・長期的な並木の景観再生とする



### 2 かみね公園

北関東有数の規模を誇る動物園や遊園地等を備えた、本市を代表する観光施設で、春には約1,000本の桜が咲き誇り、平和通りとともに日本の「さくら名所100選」に選ばれた桜の名所地となっています。

#### 整備方針

- 1 「ひとめせんぼんざくら一目千本桜の公園整備」
- 2 「日立紅寒桜とといろざくら十色桜で長い期間楽しめる桜の演出」
- 3 「華やかなエントランスで魅力づくり」
- 4 「動物と一緒に色々な桜を楽しもう」



### 3 鞍掛山

本市の桜のルーツとなった、オオシマザクラの子孫など約520本の桜が現在も息づく貴重な山です。

#### 整備方針

「市民参加の世代を越えた22世紀のさくらの山づくり」

- 1 現在ある桜を生かして、100年後に桜の巨木がある山づくり
- 2 市民・企業・行政が協働し、進める山づくり
- 3 森林の保全と利用が一体となった山づくり



### 4 十王パノラマ公園

十王ダムを見下ろす高台にある公園で、面積約4.4haの園内には、35種約400本の桜が植樹されていて、サトザクラ系の種類が多い場所となっています。

#### 整備方針

- 1 「一目千本桜の雲海を演出」
- 2 「回遊性のあるお花見広場の整備」
- 3 「色とりどりのサトザクラが一斉に咲く、錦の桜の丘を創出」
- 4 「里山に咲く、ヤマザクラを楽しむ」



## 5年後の目指すべき姿

- 1 市民・企業・行政の協働により、桜の適切な管理や保全を行う体制が構築されて活動が進み、樹勢の良い桜が増えています。
- 2 桜の歴史を学んだり、さくらのまちづくりに関するイベント等に参加する機会が増え、桜に愛着を感じたり誇りに思う市民が増加しています。
- 3 桜の名所である重要管理拠点の再整備とともに、新たな桜の拠点づくりが進み、魅力的な交流拠点の創出が図られています。
- 4 観光施設と桜の名所との連携や、SNS等を活用した情報発信の強化により、本市の魅力向上が図られ、交流人口の拡大や地域の活性化につながっています。



### ■ 五代桜

助川小学校の校庭に明治38（1905）年に植樹され、明治、大正、昭和、平成、そして令和と生き抜いている歴史ある桜です。平成の時代に“四代桜”と呼ばれていたこの桜は、令和になり“五代桜”として歴史を繋ぎ続けています。



～ひたちさくら<sup>いろ</sup>彩プラン～

日立市さくらのまちづくり基本計画

令和4年5月

発行 日立市

編集 都市建設部さくら課

〒317-8601 茨城県日立市助川町1丁目1番1号

TEL 0294-22-3111(代表)